

統計グラフを作ってみよう！

統計グラフは、統計データをいろいろな形で表し、より分かりやすくするためのものです。ここでは、みなさんが使う統計グラフのうち、おもなものについて簡単に説明します。

統計グラフのおもな種類



- 単位グラフ
- 棒グラフ
- 面積グラフ
- 体積グラフ



- 円グラフ
- 帯グラフ



単純比較統計グラフ

2つ以上の数量の差や比、大小の順序などを観察するときに使います。単位グラフや棒グラフなどがあります。

『単位グラフ』

数量を簡単な点(イラスト・マーク)で表し、その点を数えやすいように並べて数量を比較するグラフです。

☆点は、同じ形、同じ大きさに揃えます。

☆すべての点は同じ単位(数量)とし、その単位(数量)を示す点の凡例を必ず表示します。

☆点のはじまりを揃え、点は同じ間隔で配置します。

☆点の最後に数量を表示します。

『棒グラフ』

一定の幅の棒(柱)を並べ、棒の長短・高低で数量を比較するグラフです。数量を比較したり、時間による変化を見たりするときに使います。

☆棒の幅は同じ太さとし、同じ間隔で配置します。

☆棒は、必ず0の目盛り線(基線または0線と呼ぶ)の上に立てます。

☆棒は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に並べます。「その他」は最後にします。

百分比グラフ

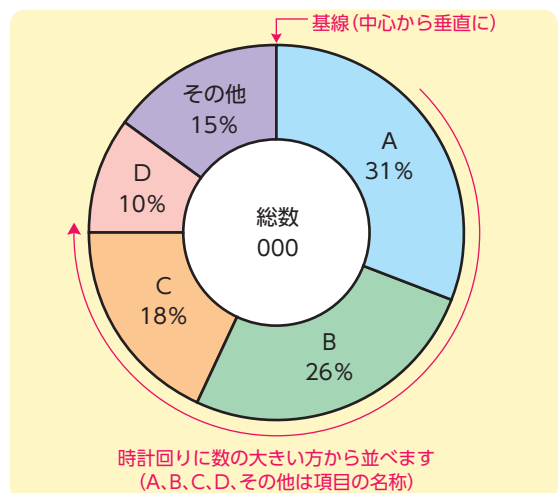
総数に対する各数量の構成比(%)を観察するときに使います。円グラフや帯グラフなどがあります。

『円グラフ』

☆円の中心から上にのびた垂直線を基線(0線)とします。

☆内訳は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に右回り(時計回り)に並べます。「その他」は最後にします。

☆目盛りをつけず、内訳は百分率(%)で表示します。

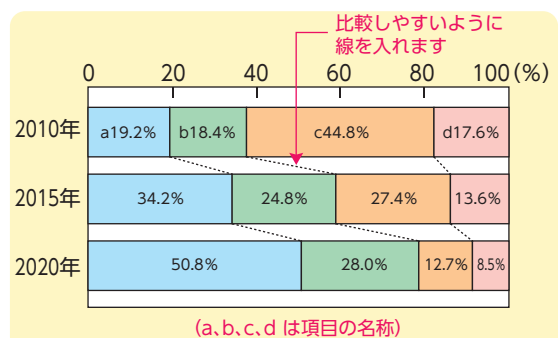


『帯グラフ』

☆帯が横のときは左端を、縦のときは下端を基線(0線)とします。

☆内訳は、順序に決まりがない限り、数量の大きい順に並べます(基線が左端のときは左から右へ、下端のときは下から上へ)。「その他」は最後にします。

☆内訳は百分率(%)で表示します。



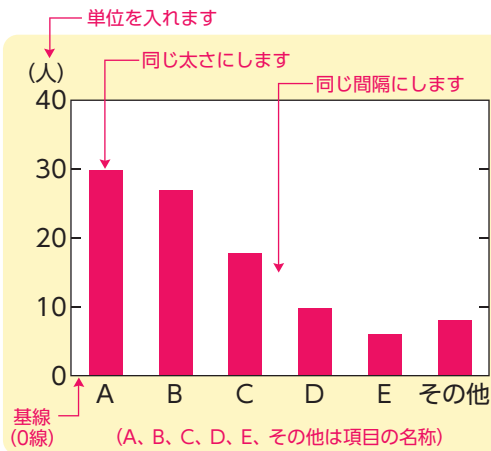
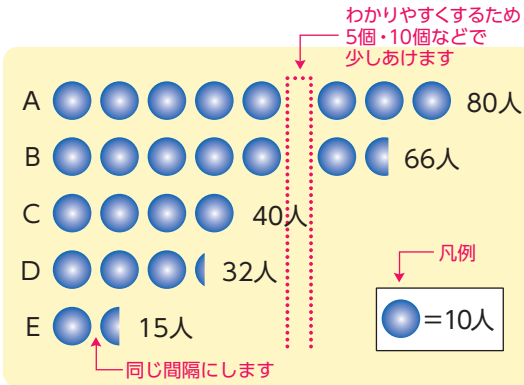
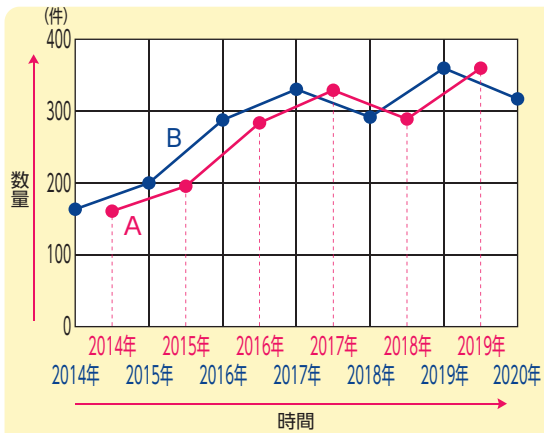
10月18日は「統計の日」

「統計の日」は、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深め、統計調査へのより一層の協力を得るために定められた日です。
 「10月18日」は、わが国で最初の近代的生産統計である「府県物産表」についての太政官布告が交付された明治3年9月24日(太陰暦)を太陽暦に換算した日です。

線グラフ

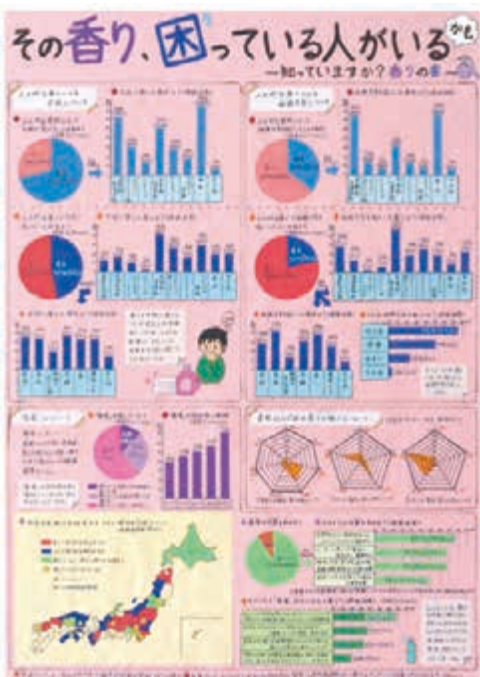
長期間にわたり連続して変化している数量を線の傾きによって観察するときに使います。

- ☆基線は原則として0にします。
- ☆縦軸に数量、横軸に時間をとります。
- ☆時間目盛りは時間の長さを示すので、時間が経過した長さ、時間目盛りの間隔は比例させます。
- ☆線を結ぶ点の位置は、ある期間の数量を表すときはAのグラフのように時間目盛りの中間上に表し、ある一定時期の状態を表すときはBのグラフのように時間目盛り上に表します。



統計グラフには、まだまだたくさんの種類があります。みなさんも、ぜひ一度作ってみてください。

第69回 統計グラフ全国コンクール入選作品



埼玉県では、統計グラフの作成を通じて、統計への理解と関心を深めていただくことを目的として、「埼玉県統計グラフコンクール」を昭和25年から実施しております。

県内(在住、在学、在勤)の小学生から一般の方までを対象に、皆さんが身近な日常生活の中で観察したことや気づいたこと、社会の出来事などをテーマにし、統計データをグラフやイラストを使って、個性的に表現した、ポスターのコンクールです。例年、6月から9月上旬が募集期間です。詳しくは、県統計課ホームページ「彩の国統計情報館」を御覧ください。

みなさまの作品をお待ちしています！

第4部 知事賞(1等)
 全国コンクール「入選」

川越市立初雁中学校 1年 小池 ひかる さんの作品